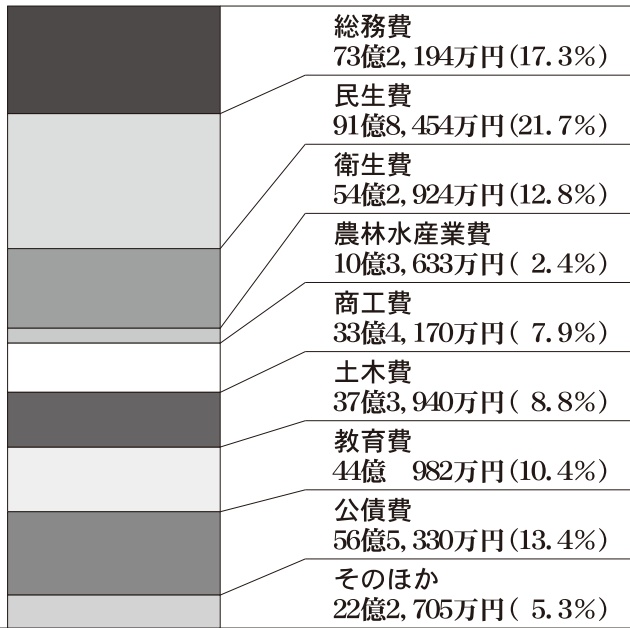


平成21年度

決算報告

9月に開催された市議会において、平成21年度の一般会計と特別会計（11会計）、水道事業会計、リフト事業会計の合わせて14会計の決算が承認されました。今回は、その内容についてお知らせします。

一般会計
歳出 423億4,332万円



差引額 23億8,509万円

◆一般会計
平成21年度の一般会計の決算額は、歳入が47億2,841万円（対前年度比11.0%増）、歳出が423億4,332万円（対前年度比9.8%増）でした。差引額の23億8,509万円は平成22年度へ繰り越します。

歳入のうち、市税など市の自主的な収入である自主財源は189億9,345万円（42.5%）、国や県から交付される地方交付税や国庫・県支出金、市の借金である市債などの依存財源は27億3,496万円（57.5%）でした。

歳出は、民生費が91億8,454万円（21.7%）と一番多く、次いで総務費が73億2,194万円（17.3%）、公債費が56億5,330万円（13.4%）の順となりました。

◆特別会計
平成21年度の特別会計の決算額は、歳入が21億305万円（対前年比4.9%減）、歳出が20億8,231万円（対前年比5.1%減）でした。差引額の4億2,074万円は平成22年度へ繰り越します。

◆水道事業会計
平成21年度の収益的収支における収入は22億2,725万円（消費税込み）、支出は20億7,169万円（消費税込み）で、差し引き1億5,556万円（消費税を抜いた純利益は1億2,237万円）となりました。

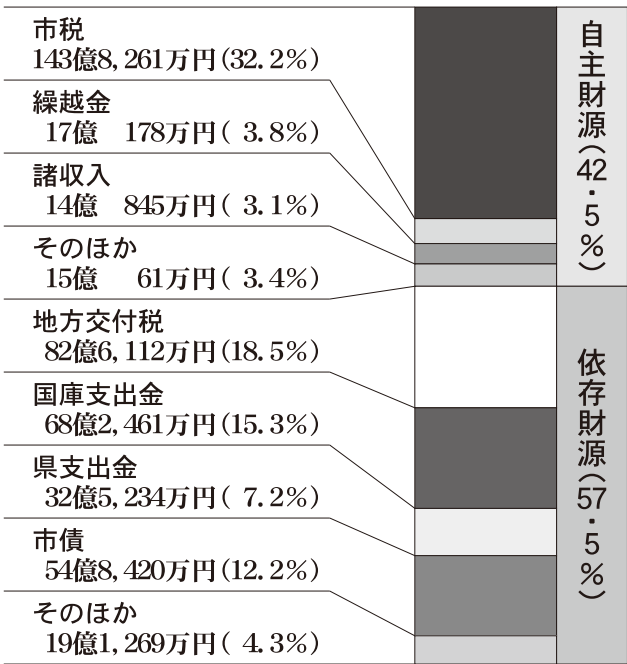
資本的収支における収入は4億7,247万円（消費税込み）、支出は13億7,422万円（消費税込み）でした。差し引き9億175万円の不足は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額や、過年度分損益勘定留保資金（水道施設などで過年度に発生した減価償却費など）で補いました。

◆リフト事業会計
平成21年度の収益的収支（事業運営を目的とした収入と支出における収入（リフト使用料など）は9,276万円（消費税込み）、支出（リフト管理費など）は8,190万円（消費税込み）で、差し引き1,086万円（消費税を抜いた純利益は1,061万円）となりました。

資本的収支（施設整備を目的とした収入と支出）は収入、支出ともに0円でした。

くわしくは
一般会計と特別会計については
財政課 ☎(21) 5162
水道事業会計については
水道課 ☎(21) 4532
リフト事業会計については
リフト事業所（日光総合支所観光課内） ☎(53) 3795

一般会計
歳入 447億2,841万円



特別会計決算額				
	歳入		歳出	差引額
国民健康保険事業	101億	826万円	98億3,847万円	2億6,979万円
後期高齢者医療事業	8億1,344万円		8億 692万円	652万円
老人保健事業	4,133万円		4,035万円	98万円
介護保険事業	51億9,223万円		51億4,150万円	5,073万円
診療所事業	1億3,375万円		1億2,720万円	655万円
自家用有償バス事業	6,306万円		5,890万円	416万円
公設地方卸売市場事業	1,467万円		1,325万円	142万円
温泉事業	8,756万円		8,582万円	174万円
銅山観光事業	9,938万円		8,383万円	1,555万円
下水道事業	45億3,447万円		44億7,117万円	6,330万円
公共用地先行取得事業	1,490万円		1,490万円	0万円
計	211億	305万円	206億8,231万円	4億2,074万円

リフト事業会計決算額			
	収入	支出	差引額
収益的収支	9,276万円	8,190万円	1,086万円
資本的収支	0万円	0万円	0万円

水道事業会計決算額

	収入		支出		差引額
	金額	単位	金額	単位	
収益的収支	水道料金	21億1,328万円	借入金の利息返済	3億 326万円	1億5,556万円
	その他	1億1,397万円	減価償却費	8億8,759万円	
			その他	8億8,084万円	
	合計	22億2,725万円	合計	20億7,169万円	
資本的収支	国などからの補助金	1億 円	施設などの整備費用	6億7,671万円	△9億 175万円
	国などからの借入金	3億1,610万円	借入金の元金返済	6億9,751万円	
	その他	5,637万円			
	合計	4億7,247万円	合計	13億7,422万円	

収益的収支とは…事業運営を目的とした収入・支出のこと 資本的収支とは…施設整備を目的とした収入・支出のこと
△はマイナス、すべて消費税込みの金額

一人当たりに使われたお金の内訳

使われたお金を市民一人当たりに分けてみると、**459,375円**でした。その内訳は下のとおりです。
※平成22年3月31日現在、住民基本台帳92,176人で計算しています。

